2023年度 事業計画

2023年4月1日～2024年3月31日

＜2023年度 事業計画＞

（2023年4月1日～2024年3月31日）

＜Vision＞

「広告業界の未来のために、ＪＡＡＡは広告の価値と魅力を創造し向上させるエンジンとなる」

3年を超えるコロナ禍、広告業界はもちろんのこと、社会生活全般にわたり、「withコロナ」を前提に、デジタル化の一層の加速をはじめ、多様なビジネスモデル・働き方への改革が進みだしています。一方で、長引く国際紛争や高まる地政学的リスク、エネルギー・原材料コスト高騰からの物価高や不安定な国際金融の影響が、私たち生活者の不安・不満を増大させていることも現実であり、複雑に絡み合う環境下での社会経済活動の回復に向け、広告業界に期待され果たさねばならない社会的な責任と使命は非常に大きく重いものと考えています。

昨年来遺憾にも社会問題化した広告及び広告業界への不信を払しょくし、信頼に基づいた「広告の価値と魅力」を創造し向上させる基本方針をこの1年徹底していく所存です。

＜Action Plan＞

1．広告業界・広告会社の価値と魅力を向上させ、広告への信頼をより高めるための諸課題への対応強化

生活者や広告主・取引先から、広告の社会的意義・役割をあらためて再認識・評価してもらうため、コンプライアンスの徹底はもちろんのこと、多様性が求められる広告業務の本質的な理解促進や変化し拡張する新しい広告ビジネスモデルへの留意点・課題共有を進め、広告業界としての取り組み姿勢・活動の発信を強化していく。

2．広告ビジネスの革新と領域拡張を加速させることによる広告の価値と魅力の創造

DXはあらゆる広告ビジネスに影響を与え、従来のビジネスモデルも大きく変容しつつあり、広告そのものの定義・領域も拡張している。ビジネスとして広告を業とする私たち広告業界は、新たなルールや指針策定共有に積極的に取り組み、常に広告が信頼され安心されるものにする義務を負っている。

事業委員会での活発な議論・意見交換を通して、広告関係他団体とも連携しながら、広告ビジネスの革新と領域拡張に取り組んでいく。

3．多様な人材の発掘・育成・成長のための環境整備

広告業界が持続的に発展を続けるためには、多様な人材によるイノベーションとクリエイティビティの発揮は欠かせない。そのためにも、次世代を担う多様な若手人材の確保・成長機会の提供を継続的に行うと同時に、会員社の社員間の意見交流の場を設けるなど、JAAAとして広告業界で働くことの魅力を伝える環境整備を行っていく。DE&I・SDGs等への取り組みをいっそう強化し、働き方・働く場そして事業活動として提供する様々なソリューションの価値と魅力の向上に繋げる。

また、マネジメント委員会傘下の各事業委員会を中心に、広告関係他団体とも連携し、大学・就職関連メディアの協力を得て、会員社の若手社員のメッセージ・実像などの情報発信を行っていく。

日本国内には、数千の広告会社があると言われています。JAAAは151の会員社の協力をいただき、300名を超える委員中心に日々活動を行っておりますが、会員社のみならず日本国内の多くの広告会社が持続的に活躍し広告業界の健全な発展に寄与する大きな責任があるものと自覚しております。
私どもJAAAは、「広告業界・広告会社」の「価値と魅力」を創造・向上させる活動と「広告」そのものの「価値と魅力」を創造・向上させる活動の双方を複合的に追及し、情報共有・発信を行ってまいります。
これらの活動において、広告関係団体や各委員会、官公庁などと連携し協働することやDXをベースとした多様化・複雑化する広告課題に統合的に取り組むこと、すなわち、これまで掲げていたアクションプランの「協働スキームによる連携」や「デジタル対応強化」は、JAAAのすべての活動のベース・前提となってまいります。
新しい広告領域への拡張・革新や業務プロセスの改善・効率化などが創り出す広告のこれから・未来は、必ずや「広告の価値と魅力の創造・向上」となり、結果として、多様な人材を惹きつけ、広告への信頼回復・向上に結び付くものと確信しています。

＜各委員会 事業計画＞

◆ビジネス統括委員会（委員長：佐野　傑）

広告会社の経営合理化に関する諸問題を研究する。

１．委員会活動

①広告業界の課題を整理し意見交換やディスカッションを行う

②経理委員会、情報システム委員会、法務委員会、制作取引委員会、営業委員会、著作権委員会、広告の機能と役割研究委員会、CSR委員会、広告問題研究委員会からの報告を受ける

２．その他

広告業界の課題を整理し意見交換やディスカッションを行う

・経理委員会（委員長：長森秀樹）

１．経理業務に関する情報交換、課題の検討、研究

２．会員社にむけて、経理業務に関わる情報の発信

・情報システム委員会（委員長：奥村卓也）

情報システムに関連する情報交換を行い、共有できる情報を会員社に発信していく。

１．委員各社の情報交換

①情報システムに関する定期アンケートを実施しその結果をJAAAレポートにて会員社へ報告

②直近の課題について委員各社間で情報共有を図る

２．ワーキンググループの活動

環境の変化に対応し、既存のWGの活動も適時見直して活動対応を行う。

①Office 365 ワーキンググループ

②情報セキュリティ ワーキンググループ

③BCP ワーキンググループ

・法務委員会（委員長：長谷川雅典）

1．法務関連問題への対応と会員社への情報発信
2．広告法務セミナーへの対応・実施協力
3．他の委員会・広告業関係団体との連携および情報交換
　広告取引基本契約モデル案の改訂等

・制作取引委員会（委員長：沼澤　忍）

1．CM素材オンライン運用推進プロジェクト、他団体との連携協力
2．字幕付きCM普及推進協議会（構成３団体：日本アドバタイザーズ協会・日本民間放送連盟・日本広告業協会、協力団体：日本ポストプロダクション協会）への協力
3．広告会社の制作取引に関する情報共有、意見交換、課題対応等

・営業委員会（委員長：降籏　淳）

広告会社の営業諸課題について会員社営業セクションへの情報共有を行うとともに、各委員会の課題解決に際して会員社営業セクションからのフィードバックを行う。

1．「CM素材オンライン運用推進プロジェクト」への協力
2．広告会社の営業課題の情報共有、他団体との意見交換の実施

・著作権委員会（委員長：渡部秀人）

1．日本アドバタイザーズ協会法規制セミナー講師派遣
2．JAAA会員社向けセミナーの実施
3．JAA－JAAA広告取引基本契約モデル案改訂
4．その他、勉強会・ヒアリング等

・広告の機能と役割研究委員会（委員長：柳瀬健司）

前年度の企画の継続実施と、新たなテーマでの広告の「機能と役割」を調査分析し、会員社に向けてナレッジ発信を行うことで広告の価値向上を目指す。

・CSR 委員会（委員長：宮坂隆行）

様々な社会課題・CSRテーマと広告業界・広告との関わりを情報収集、発信する等の活動を行う。

1．ポスター募集
　会員社に対しCSRテーマについて考える契機とするためのインナープロモーション展開としてポスター案等を募集
2．セミナー実施
　「ダイバーシティ」「ジェンダー」「環境問題」「SDGs」等について、会員社のソーシャルテーマに対する理解促進となるよう、セミナー実施を検討
3．「広告人のためのCSRコミュニケーション入門」普及

2021年に発行した標記冊子の普及・促進に向けた活動

・広告問題研究委員会（委員長：北原利行）

広告業に関わる国の施策に対する課題の検討、研究を行う。

1．官庁からの諮問等に速やかに答申できるよう官庁別担当制に基づき活動

2．広告業に関わる情報交換、社会的な課題の検討、研究

3．会員社に向けて、広告業界の新たな業務に関わる情報の発信

◆メディア委員会（委員長：永井聖士）

1．広告メディアに関する研究

①各委員会とプロジェクトによる検討

②関係団体との意見交換

・日本民間放送連盟との協力と連携

・広告メディア関する関係団体との協議

2．広告メディアの課題への対応

①各委員会による連携、及び横断対応

・テレビ委員会（委員長：相坂勇人）

1．テレビ広告取引の研究

①放送確認ワーキンググループ

②有事ワーキンググループ

③同時配信検討ワーキンググループ

2．テレビCM素材オンライン運用促進への取り組み

①CM運行ワーキンググループ

・民放連CM運行WGと協調しCM素材オンライン運用推進

3．字幕付きCM普及推進協議会（第9期）への協力

・ラジオ委員会（委員長：木村直之）

1．ラジオCM取引及び素材のデジタル化運用促進活動＜日本民間放送連盟と協働＞

①「ラジオCM素材オンライン送稿システム」ラジオ業務の効率化を推進

②「ラジオCM素材オンライン送稿システム」普及促進

2．ラジオ広告活性化に向けた研究と活動

①研究 ＝ラジオ広告にかかわる研究・ヒアリング

②活動 ＝ラジオ広告の活性化セミナーの企画と実施

・新聞委員会（委員長：出光淑子）

1．新聞広告掲載確認調査の実施

①第三者機関のモニタリング調査による掲載確認の実施

②日本新聞協会加盟新聞社からの報告書の提出と日本アドバタイザーズ協会への報告

２．日本新聞協会との協働
①N-PDFの推進等における意見交換等
３．新聞広告の価値向上

・雑誌委員会（委員長：前川昌子）
１．雑誌広告の価値向上
①雑誌広告の課題抽出と検討
②関係団体とのセミナー開催等連携の検討等
２．雑誌広告デジタル送稿推進協議会（以下、デジ協）の位置付け・活動内容の検討
正副委員長各社よりデジ協に委員を派遣し、オンライン送稿における課題も踏まえ、今後のデジ協の位置付け、活動内容に関して議論-検討

・交通広告委員会（委員長：青柳淳英）
１．関係団体との連携と情報交換
①日本鉄道広告協会（JAFRA）との連携
②関東交通広告協議会（11社会）との連携
③日本アドバタイザーズ協会との連携
２．交通広告の価値向上
①交通広告の課題抽出と検討
②交通広告セミナー等の検討
③OOH新共通指標策定プロジェクトとの情報共有

・インターネット広告委員会（委員長：石川直樹）
１．デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ
①外部イベントへの参画、後援（アドテック東京他）
②セミナーの企画、実施
２．インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア、その他課題への対応について
①デジタル広告品質認証機構（JICDAQ）への運営参画
②海賊版サイトへの対応
③アフィリエイト広告他各ガイドラインの見直し

・メディア調査研究委員会（委員長：河村徹生）
１．メディア調査・メディアソリューションに関する研究・対応
①視聴率調査
２．共通指標に関する研究

・メディア業務改善委員会（委員長：井上　聡）
１．CM素材オンライン運用推進プロジェクトの運営・実施
２．CMオンライン普及プロジェクト

3．テレビCMのオンライン運用の調整実務
4．オンライン運用のステークホルダーに対する対応
5．業務改善の具体的検討
広告主、広告会社、放送局 業務の安全性と業務改善、Withコロナにおける業務リモート化へ必要課題に取り組む。放送確認の次世代方式（ペーパレス化）テレビスポットCMスケジュール表・テレビ番組CM連絡表のペーパレス化・BCP対策やセキュリティ対策など
6．JAAA内の各委員会との連携

・CM素材オンライン運用推進プロジェクト（リーダー：外山善太）
1．CM素材オンライン運用推進プロジェクトの活動
①普及促進活動
②ステークホルダーへの対応
2．新課題への対応
①「次世代CMDeCo」へのリプレース完了に向けて運用方法改訂準備
②広告EDIセンターとの連携による課題対応
③小規模広告会社・制作会社での「オンライン運用暫定簡易方式(仮称)」の検討

・OOH新共通指標策定プロジェクト（リーダー：三池　元、髙橋隆晃）
1．「日本版OOHメジャメントのあるべき姿と指標の定義」に関する協議の必要性
2．日本版OOHメジャメント検討準備委員会について（案）

◆クリエイティブ委員会（委員長：能登健裕）
クリエイティブ関係者の資質向上とクリエイティブに関する研究、情報交換等を目的に以下の活動を行う。
1．クリエイター･オブ･ザ･イヤー賞
①2022年クリエイター･オブ･ザ･イヤー賞の表彰
日　時　2023年5月31日（水）定時総会・表彰式
②2023年クリエイター･オブ･ザ･イヤー賞の募集及び審査
2023年12月募集開始、2024年1月末締め切り、2月～3月に審査会を開催
2．クリエイティブ講演の開催
クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者の講演等を通じて、クリエイティブの力を世の中にアピールすると同時に、業界のクリエイティブ力強化と、業界若手の育成を推進する。
①受賞者講演の配信
②受賞者各地講演
3．クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の見直し
引き続き、賞と選考（規約、体制）のあり方等の見直しを実施。
特に審査員の多様性担保のための対応を、2023年の本賞実施の際にスタートさせる。

◆マネジメント委員会

傘下の８つの事業委員会委員長と一部ビジネス統括委員会参加の委員会委員長を委員とし、人材・働き方・社会課題テーマなど会員社のコーポレートガバナンス・業界全体のマネジメント課題を共有・議論を行う。

・人材育成委員会（委員長：太田理奈子）

１．第50回 新入社員教育セミナー実施

日　程　2023年4月4日（火）～4月7日（金）　9:30～16:30（4日間）

形　式　ハイブリッド形式（1日目～3日目は、講義Zoom配信
4日目は、グループディスカッションを機械振興会館にて実施）

参加費　44,000円（1名税込）

内　容　・オンラインコミュニケーションはグループに分けてブレイクアウトセッション
・テキストとして「広告ビジネス入門」を使用
・グループディスカッションのテーマ
「５年後の広告業界をより発展させるアイデアを考える。」
・グループごとに発表

２．第28回フォローアップセミナーの実施

日　程　2023年10月～12月、2日間予定

３．対学生へのアプローチ、マスメディアン等他団体との連携

４．その他

①上記以外のセミナーを検討する

②各種イベントへの講師派遣は依頼に基づいて適宜対応する

・広告ビジネス入門発行委員会（委員長：荘司康友）

１．「広告ビジネス入門」第25版について

2024年9月の発行に向けて、編集方針と執筆担当を見直し確認を行う

・懸賞論文委員会（委員長：鈴木良平）

１．第52回懸賞論文

①表彰式

日　時　2023年5月31日（水）定時総会・表彰式

②入賞・入選作品集の発行（JAAAレポート臨時増刊号）

発行日　2023年5月31日

③広報施策

・ウェブサイトに受賞者個人ページを作成、公開

・アドタイに金賞要旨掲載

・ウェブサイトにファイナリスト作品掲載

２．第53回懸賞論文募集

①募集要項

・募集部門　『論　文』　課題　広告の新しい姿

『私の言いたいこと』

一般部門、新人部門、プレゼンテーション部門

・募集期間　2023年6月1日（木）～9月29日（金）

・審　　査　2023年10月中旬開始

②応募の促進

・エントリー説明会の実施

・その他

・海外交流委員会（委員長：高橋　修）

1．海外セミナーの企画と実施

目　的　海外広告界動向の知識を得る

概　要　海外広告関係者を講師としたウェビナーを企画し開催

開　催　年数回の開催

2．海外広告関係団体への協力

①海外広告関係団体主催、国際会議や広告祭等へのオンライン参加への協力

②アドバタイジングウィーク・アジア（東京）への協力

3．海外研修団の派遣企画

コロナ対応の海外渡航状況の環境改善が進み、研修団・研修ツアー等の派遣が可能となった。会員社の参加希望を確認のうえ、第47回海外研修の実施、およびスパイクスアジア派遣などの実施を企画する。

・イノベーション委員会

1．「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（JAAA若手大賞）」についての運営

①第10回本賞の発表及び表彰

発表予定日　2023年4月3日（月）

発表内容　　審査結果、審査講評、本賞についての提言等

発表媒体　　JAAA REPORTS 4月号、JAAAウェブサイト、他業界紙誌

受賞施策への伝達、特典の授与・送付等

②第11回本賞の募集と審査

2．広告業のあり方、業界活性化のための施策を検討

・PR委員会（委員長：山崎正道）

広告・広告業界の魅力を、業界外（とりわけ若手）に対してPRし、その価値と役割の理解促進を図る。また、活動を通じて多様な人材確保や流出防止等にも寄与することを目指す。

1．広告・広告業界のPR

①「広告の広告」によるPR活動

・新聞社、雑誌社への掲載協力依頼

・活用範囲の検討

・2024年度原稿の制作

②学生向け施策によるPR

・2022年度から計画している学生向け座談会の実施
・座談会に関する協会オウンドメディア（JAAAウェブサイト・SNS）での展開

２．協会広報活動

①協会のPR活動

協会オウンドメディア（会報・JAAAウェブサイト・SNS）を活用した広報企画の検討

・会報編集委員会（委員長：高澤正行）

本年度も従来通りの編集方針で、JAAAレポートを毎月発行する。委員会の活動や研究内容を会員社を中心に随時報告していく。また、会員社からの執筆や、広く各社のトピックスを紹介するなど、より多くの会員が参加できる機関誌を目指す。基本企画については、主な読者である会員各社の社員の就業環境を加味し、会報のWEB移行トライアル期間の初年度として、シリーズ企画をWEB記事に掲載する。

１．冊子概要

・形　態　B5判 表紙共16ページ
・発行日　毎月1日
・部　数　3,700部
・配布先　会員社、各地区広告業協会、関係団体、広告学会・広研、業界紙誌、官公庁、掲載誌、保存
・表紙デザイン　東急エージェンシー

２．WEB

2023年4月より、シリーズ企画6本を毎月更新していく。

https://jaaareports.jaaa.ne.jp

・DE＆I委員会（委員長：北風祐子）

広告業界・広告会社のDE＆I推進を強化し、広告会社の多様性を向上させ、業界で働くすべての人が活躍できる環境づくりに貢献する活動を行う。

１．「DE＆Iアンケート調査」に関するリリース発行、発信
２．JAAA会員社を対象としたDE＆Iの啓発
３．関係外部との意見交換や連携

◆運営委員会

理事会への提出議案及び協会運営に関する事項について検討を行う。

・入会資格審査委員会（委員長：大塚尚司）

入会希望会社の入会資格審査を随時行う。

・財務委員会（委員長：曽我有信）

半期決算案・年度決算案および年度収支予算案について検討する。

・吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：桑原常泰）

吉田秀雄記念賞選考を行い、定時総会後の贈賞・表彰式にて贈賞を行う。

・役員選挙管理委員会（委員長：丹羽信一）

2023年度役員改選にあたり、役員選挙投票後に開票・集計を実施し役員候補者を選定する。